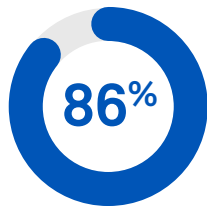


Rave EDC上で参照できるアクションの例:

- 被験者や検査ごとの画像収集ステータスと収集日時
- 画像のレビュー状況
- CRFデータのレビュー状況
- 画像に関わるクエリのサマリ

Rave EDCとRave Imagingが統合されたメリットを最大限に活用

画像管理ソリューションとEDCの統合は非常に合理的であると言えます。どちらも臨床試験の遂行に不可欠なものです。2つのデータ収集環境を連携させることで、統合プラットフォームの能力が引き出されます。データは相互に参照できるため、手入力に頼ることなく正確なデータが正しいユーザーに適切なタイミングで提供されます。これにより、プロセスの合理化、タイムラインの加速、可視性の向上が実現されます。



契約からGo Liveまでにかかる時間を短縮



読影までに要する時間を短縮



クエリ数の減少

*グローバルCROの統合型イメージングとEDCアプリケーションの経験に基づくケーススタディから得られたデータ

About Medidata

メディデータは、ライフサイエンスのデジタルトランスフォーメーションを推進し、多くの患者の希望をあたにします。製薬企業、バイオテクノロジー企業、医療診断・機器メーカー、学術機関の研究者がエビデンスやインサイトを生み出すことを支援し、新しい治療の価値拡大、リスク最小化、アウトカム最適化の実現に貢献しています。1400社以上のライフサイエンス企業や団体に採用され、100万人以上の認定ユーザーが日々利用する、臨床開発、コマーシャルさらにはリアルワールドデータの活用において世界で最も使われているプラットフォームを提供しています。ダッソー・システムズ（ユーロネクスト・パリ：#13065、DSY.PA）の傘下であり、米国ニューヨークに本社を置くメディデータは世界各国に拠点を置き、お客様のニーズにお応えしています。より詳細な情報は www.medidata.com/jp、LinkedIn / Facebookの日本語公式アカウントページなどをご覧ください。

Medidata, Medidata Rave and Acorn AI はDassault Systèmes 子会社であるMedidata Solutions, Inc.の登録商標です。お問い合わせは japanmarketing@medidata.com まで。